

## 令和2年度第1回鳴門市総合計画審議会 議事概要

日時：令和2年9月2日（水） 午後3時30分から5時00分まで

場所：うずしお会館2階 第1会議室

出席者：（審議会委員24名）

永戸委員、恵美委員、大岩委員、小川委員、勘川委員、齋藤委員、佐川委員、笹委員、佐竹委員、佐藤委員、曾良委員、富田委員、中津委員、長野委員、西川委員、濱田委員、平野委員、福山委員、藤村委員、益岡委員、松本委員、村澤委員、矢野委員、山下委員

（鳴門市関係者13名）

泉市長、谷副市長、安田教育長、近藤企業局長、小泉政策監、尾崎事業推進監兼企画総務部長、廣瀬市民環境部長、天満健康福祉部長、西上経済建設部長、山下消防長、三居企業局次長、米澤議会事務局長、並木学校教育課長事務局5人

傍聴者：なし

### 会議次第

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 会長及び副会長の選任
- 5 議事
  - (1) 総合計画実施計画（令和元年度実績）及び令和2年度行政評価について
  - (2) 総合計画実施計画（R2-R4）について
- 6 閉会

### 会議資料一覧

- 【資料①】 第六次総合計画実施計画（令和元年度実施計画兼評価シートまとめ）
- 【資料②】 第六次総合計画実施計画（R2-R4）
- 【資料②-1】 実施計画（R2-R4）掲載事業一覧表（組織機構順）
- 【資料③】 鳴門市総合計画審議会委員名簿
- 【資料④】 鳴門市附属機関設置条例
- 【資料⑤】 総合計画策定に関する要綱

## 会議経過

- 1 開会后、市長挨拶。
- 2 各委員及び市出席者を司会より紹介。
- 3 会長及び副会長の選任
- 4 会長である山下委員より挨拶。
- 5 議事（1）について、事務局より資料①の説明を行った。
- 6 議事（2）について、事務局より資料②の説明を行った。
- 7 副市長より挨拶の後、閉会。

主な質疑等、議事の概要は以下のとおり。

### ◆議事（1）総合計画実施計画（令和元年度実績）について

※資料①に基づき、総合計画実施計画（令和元年度実績）の内容について事務局から説明。

#### 委員

実施計画実績の進捗状況について、ほとんどの事業については計画通り、もしくはほぼ計画どおりということで、各施策順調に進んでいると思う。

「四国のゲートウェイ推進事業」の補助金（財源）について、教えていただきたい。

#### 事務局

「四国のゲートウェイ推進事業」の財源については地方創生推進交付金を活用している。事業費の2分の1が国からの交付金であり、残りの2分の1が市の単独の費用となっている。

#### 委員

道の駅については引き続き計画通り進めていただき、市の活性化につなげていただきたい。

地域支援事業（包括的支援事業及び任意事業）について、地域包括支援センターの機能強化等とあり、地域にとって重要な事業である。ほぼ計画どおりの進捗となっているが、問題点等はないか。教えていただきたい。

#### 天満健康福祉部長

本市では市内5か所に地域包括支援センターを設置し、地域支援の体制をとっているが、地域で支え合うために、暮らしのサポートセンターの開設等様々な施策も実施している。

課題を挙げるとすれば、現在は新型コロナの影響で活動がしにくいという状況である。

引き続き地域包括支援センターと基幹型地域包括支援センターとが連携しながら、地道に活動を続けていく。

#### 委員

ブランド産地推進事業（水産）について、若手の漁業者、後継者が少ないと聞いているが、実情はどうであるか。

#### 西上経済建設部長

ブランド産地推進事業（水産）について、魚のさばき方教室などを実施し、一般の方に漁業者とのふれあいをもっていただく活動を実施している。若手漁業者の活動支援として、県内外へのPRの実施や若手漁業者の組織づくりを行っている。また、後継者の育成についても県等と連携し取り組んでいる。

実際、高齢の漁業者が多くなってきてはいるが、若手漁業者も一定数おられるのも事実である。

#### 委員

令和2年度から新規実施のいぬねこ愛護事業について、鳥獣被害の対策について教えていただきたい。

#### 廣瀬市民環境部長

今までは飼い犬、飼い猫の去勢手術の費用の一部を補助していたが、今年度からは、新たに人と猫との共生社会の実現を目指すため、地域の飼い主のいない猫の手術費用の一部補助を行っている。

#### 西上経済建設部長

鳥獣対策としては、資料の事業No113にもあるように、サル・イノシシを主な対象とし、捕獲檻などを活用し、捕獲を実施している。令和元年度実績としてはサル57頭、イノシシ601頭の捕獲を行った。平成30年度実績と比較するとかなり増えてきており、引き続き、重要な課題ととらえて、施策の展開を実施していく。

#### 委員

避難所における資機材の整備について、新型コロナウイルス感染症対策にも有効なものとしてパーテーションがあると思うが、まだ設置数が少ないと思われる。いまのような状況下で適切な避難所運営を行うためにも、各避難所にパーテーションの設置を増やしていただくようお願いしたい。

#### 尾崎事業推進監

避難所におけるパーテーションについては、プライバシーの保護の観点及び新型コロナウイルス感染症対策として整備が求められている。

現在の設置状況としては、大麻中学校と堀江公民館において、1つで4つの区切りができるパーテーションを20基保管している。また、1区画ごとに区切れるパーテーションについては100基を集中管理しており、このほか、ドーム式のテントについても、198基の準備を進めているところである、まだまだ数が足りないかもしれないが、引き続き、段階的な整備に努める。

委員

パーテーションについては早急に整備に努めていただきたい、また、以前より申し上げている避難タワー設置も進めていただきたい。

尾崎事業推進監

避難タワーについては以前もご提言いただいたところであるが、津波避難場所を一度に整備するのは難しいが、歩道橋と避難場所というように2つの機能を持った施設の検討ということで、費用対効果についても多少上がるであろうことから、今後も念頭に置きながら、避難施設の整備について検討していきたい。

#### ◆議事（2）総合計画実施計画（R2-R4）について

※資料②に基づき、総合計画実施計画（R2-R4）について事務局から説明。

山下会長

新規事業について、事務局の方で特に注目すべき事業があれば、挙げていただきたい。

事務局

新規の事業の説明をさせていただきたい。

天満健康福祉部長

基幹相談支援センター設置業務について。

今まで高齢分野においては、基幹型地域包括支援センターを設置して困難事例等の対応を行っているが、本事業については、障がい者のための相談支援や困難事例等、総合的に対応するため、基幹相談支援センターの設置を行う事業である。

委員

資料9ページの企業誘致事業について、最近では企業誘致の話があっても、規模が小さい。10～20人ぐらいで、すべて回していく計画の企業が多い。地元の雇用効果が少ない。

ただ、企業誘致の準備は必要であり、とりわけ、下水道の整備が重要である。どのような業種が地域の雇用につながるかについても、ご検討いただきたい。

次に資料 35 ページの地域支援事業について、「いきいきサロン」の開設・運営支援とありますが、「いきいきサロン」については店舗の中等でも開設することが可能ということでこれからも広めていっていただきたい。

最後に資料 75 ページの自治振興会連携促進事業について。地域の活動を活発にしていくには地域のコミュニケーションが重要であるが、とりわけ新興住宅地において、町内会等への参加が進まない。地域の代表が入っていき勧誘すれば、一定数参加してくれるかもしれないが、それではあまり意味がない。地域自身での盛り上がり、その地域での世話人が必要。何か市の方でも考えていただきたい。

#### 西上経済建設部長

企業誘致に関して、現在、工業団地についてはすべて埋まっており、誘致できる候補地の情報収集を行っている。また雇用に繋がらないとのことですが、企業奨励制度を設けており、地元雇用をすれば、固定資産税等の軽減を受けられるというように支援をしているところである。また、業種については、製造業にこだわらず、サービス業等柔軟に対応できるよう、テレワークやサテライトオフィス等についても検討している。

下水道事業についても着実にすすめている。ご理解いただきたい。

#### 廣瀬市民環境部長

自治振興会連携促進事業について、市では自治基本条例を策定し、自治振興会をパートナーとし、市民が主役のまちづくりを進めている。課題として自治会・町内会への加入がなかなか進まないことは把握している。しかし、強制加入ということはできない。地域の活動を広く知ってもらうため、行事内容等を市公式ウェブサイト上に掲載するなど周知に努めている。

#### 委員

まず、道路照明LED化事業については、道路が明るくなり、良かったと思います。次に、資料 22 ページの国内・国際交流事業における、日独友好事業についてですが、今年度についてはコロナの影響で使節団の往来が難しくなっています。

その中で1つお願いとして、昨今、使節団における青少年の応募が増えている。現在 12 名の枠のところをもう少し増やすことはできないか。

最後に文化会館について、来年度には休館の予定とのことであるが、今後の耐震改修の方向性について、お聞かせいただきたい。

#### 廣瀬市民環境部長

国内・国際交流事業における、リューネブルクとの交流事業についてですが、青少年の応募が多くなっており、12 名のところ、20 数名の応募があった。今後は人数の枠の拡大について、検討していきたい。

文化会館については、令和 3 年の 4 月で休館とし、今年度は基本調査を実施する予

定である。その後、基本調査の結果を踏まえ、基本計画の策定を考えている。そこで耐震工法、概算費用、スケジュール等が示される。その後、設計、改修工事という流れになっていく予定。

委員

鳥獣被害対策事業について、サル・イノシシの対策はされているのはわかりますが、カラスの被害についての問い合わせ等はないのか。

西上経済建設部長

市内ではサル・イノシシのほかに、シカや、鳥についての被害も聞いている。

委員

梨農家でのカラスの被害が多い、カラス対策は具体的に考えているのか。他の自治体に視察に行った時にはカラス用の大きな捕獲檻を設置し、処分を行っていたが、やはりカラスの処分は難しいのか。

西上経済建設部長

やはり街中での処分は難しい。また処分の方法等もあり、直接駆除という方法は難しい。各団体と相談していきたい。

委員

鳥の対策についても是非研究していただきたい。

また、聞いた話であるが、イノシシの捕獲の仕方が細かく、難しいとのことである。簡素化できる方法等はないのか。

西上経済建設部長

イノシシのとどめ刺しの方法であろうかと思うが、銃類等は街中では使えない等の規制がある。

捕獲等については、有害鳥獣対策協議会に委託しているが、高齢化が進んでおり、できる限り、簡素化したやり方で、捕獲等を行えるよう、関係団体と相談し検討していきたい。

委員

大麻町の一部においてはサルの被害が大きいところがある、捕獲用の網があると聞いているが、被害が多いところに設置することはできないのか。

西上経済建設部長

設置場所については、様々な制約もある。県と関係団体と協議し、個々の事例で判断させていただき、検討していきたい。

## 委員

各事業の評価についてであるが、総合計画を進めるうえで、最終的な目標というのは、人口の増、まちの活性化、暮らしやすい街づくりという方向性だと思うが、事業評価、今後の方向性を見てみると、現状維持の事業が多く、現状のままで、目標に向かっていけるのかというところをもう少しご検討いただき、現状維持の事業の中から、ブラッシュアップした事業を検討いただければと思う。

## 山下会長

各事業でチャレンジする気持ちを持って推進していただきたい。

本日委員の皆様からでた意見・要望を鳴門市の施策に反映できるようこれから検討してほしい。

## 【閉会あいさつ】

————— 閉会 —————